

KAZUO ADAMSKI

Artist Statement

○抽象絵画に関するステートメント:

私は、絵画というメディアを通じて、生命の起源と無から有を作り出すプロセスに興味を持っています。化学的反応や偶発的な出来事が生命を生み出すように、私の制作プロセスは偶発性と実験性を組み合わせたものです。具体的には、原始絵具に白絵具をぶつけることで、色の階調やムーブメント、規則性を生み出し、有機的な表現を追求しています。

私の制作目的は、完璧な絵画を作ることではありません。むしろ、部分的に絵画的な要素や「美」が生まれることを期待しています。美は、作り手が意図的に作り出せるものではなく、偶然や実験的プロセスから生まれるものです。私は、制作過程において美を発見するために、探求心を持ち続けています。

私の抽象作品は、常に変化し続けています。私の制作プロセスは、偶発的な出来事や実験的なアプローチに基づいているため、制作過程が進むにつれて、作品が進化していくのです。私の作品は、見る人にとって新鮮で、探究心を刺激するような作品であることを目指しています。

○具象絵画に関するステートメント:

私が描くのは、ポートレートです。しかし、私は基本的にモデルを使いません。私が描くのは、トロニー画と呼ばれるもので、モデルの存在を必要としない作品です。

私は人物のフォルムの正確さを追求するのではなく、歪んでいるフォルムの面白さを追求しています。私が描くポートレートは、完全に現実的ではありません。しかし、私の描く作品には、描かれた人物の個性や特徴がよく表現されています。

私の具象画は、フォルムの歪みや変形を通じて、人物像を探求することを目的としています。私が描くポートレートは、人物像を再現することを目的としたものではありません。私が追求するのは、人物像の奥にある感情や心情を表現することです。

私が描く作品には、静的なイメージだけではなく、ダイナミックな要素も含まれています。私は筆を使い、絵の具を使い、キャンバスに自由に描いています。私が描く具象画は、私自身の感性や感情が反映されたものです。

私が描く具象画は、一つの人物像を表現するだけではありません。私が描くポートレートは、多面的な人物像を表現するものです。私が描く作品には、その人物像に対する私自身の解釈や意見も含まれています。

以上、ChatGPTさんに改稿してもらいました。

